

週報

第2680地区 南淡路ロータリークラブ

Weekly Report

2021～2022年度 南淡路ロータリークラブテーマ 「明日を創る」

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの 人生を豊かにするために

RI会長 シェカール・メータ

【例会場及び事務局】 兵庫県南あわじ市福良丙317 ホテル&リゾート南淡路 / TEL: 0799-53-1889 FAX: 0799-53-1889
【例会日】 毎週金曜日 / 12:30～13:30 会長: 鹿田 淑子 幹事: 坂東 顕郎 会報委員長: 野村 将司



9月24日、吉岡博忠ガバナー（伊丹RC）に 公式訪問していただきました。



第2846回例会 2021年10月1日（金）

Vol.6

「NTB2兵庫南あわじホテル計画、ならびに 積水ハウスのトリップベース事業について」

積水ハウス株式会社 西日本特建支店 企画設計室 植田 泰平 様
積水ハウス株式会社 開発事業部 トリップベース事業推進室 事業推進室長 栗崎 修一 様 豊崎 竜也 様 (本物件担当)

米山月間

プログラム委員長/安部 則行

♪本日のソング 「君が代」「奉仕の理想」

第2845回 REPORT

2021年8月20日

会員総数・・・31名 暫定出席率・・・64.5%
出席者・・・20名 前々回修正出席率・・・71.0%
欠席者・・・11名 例会運営委員長 村上雅信

幹事報告

幹事 坂東 顕郎

- ガバナー事務所勤務体制を今のまま9月12日（日）まで延長します。
- 洲本R.C.からガバナー公式訪問報告書受取。
- 津名R.C.は8月25日（水）、9月1日（水）、9月8日（水）の例会を取り消します。
- 淡路G・4R.C.より週報送付。



「会員維持増強セミナーについて」

南岳 利英 会員

7月10日に開催された「会員維持増強セミナー」はオンラインでおこなわれました。当クラブは近年、会員増強の成績も良く昨年初頭には34名の会員規模でしたが、年度末には3名の退会者がでて、最終的には31名となりました。新会員は出席率が悪く、これも当クラブの問題となっています。

会員の増強が叫ばれるのは、会員数の減少が著しいことに起因しています。日本において、1996年に13万人を越えていた会員数も2020年には8万6千人になり、約三分の一の減少となりました。同じく2680地区においても4152人（1998）が2664人（2020）となり、36%の減となっています。

これに対し、規定審議委員会では出席や例会のあり方に柔軟化の風を吹かせてきました。メイクアップは年度内に行えばOKになり、奉仕行事やウェブ会合でも出席となりました。Eクラブやモーニングクラブなど新しい形のクラブもも設立されてきております。

しかしながら、クラブ数の減少化や会員の高齢化は進んでおります。一般人における認知度もライオンズクラブに一部ほど少なく、社会認知度を高める戦略が必要とされています。

セミナーの最後には(会員増強・会員基盤の強化)→(元気なロータリー)→(奉仕活動の増大)→(RCの公共イメージ向上)→(RCの認知度向上)→(会員増強・会員基盤の強化)といった好循環をつくっていくことが重要であるとして締めくくっています。



社会の認知度をあげる程の奉仕活動は一朝一夕にはできません。毎年内容をかえる場当たりの奉仕活動では意味を成さないでしょう。経年的な地道な活動を続けることでヤツコラサ成果を上げ、社会に認知されるのとも思います。当クラブで近年実施している「淡路学園」卒園者への「スーツ・奨学金の贈呈」も継続することで社会の認知が広がっていくものと期待しております。

「公式訪問卓話要旨」

ガバナー 吉岡 博忠 様

創立59年を迎えられる南淡路ロータリークラブ様を訪問させていただけることを光栄に存じます。

本日の訪問に際しまして、深川純一PDGの伊丹クラブ例会での3分情報（純ちゃんのコーナー）と年2回開催していました、全国から多くのロータリアンが参加いただいていた15回の講演集を、謹呈申し上げます。本合本はクラブ運営またロータリーの理念、歴史を学ぶには最適の書と存じます。



■シェカール・メータ氏RI会長テーマ

メータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマSERVE TO CHANGE LIVES「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」を発表しました。

「人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから。ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。



会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、Covid19との闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」と締め括りました。

■ガバナー行動指針

今年度のガバナー行動指針を“ For the dynamic Leaders of futures with Rotary “ 「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」とさせていただきます。このような感染拡大のなかで巣ごもりするのではなく、あらためて「親睦」と「奉仕」の実践のための「学び」にスポットを当て、リーダーの「人材育成」を標榜させていただきます。ロータリアンのみならず、ロータリアンに関わる全ての人々（従業員、関係団体等々）が、行動的、力強い、生き生きとした、活力に満ちたリーダーを育てるためにとしました。「人材育成」はロータリーの大きなターゲットの一つであり、個人倫理の確立、人間の魂のあり方を問い、人を育てる核心は、穢れ無き魂を持った人を育てること、どのような人をどのように育てるかが最も大切であると考えます。

地区・クラブリーダーの皆様へ期待を込めてのお願いです。ロータリーの全てのプログラムが人材育成に繋がります。これを意識しないと忘れ去られているのが現状です。私たちはこの機会に恵まれたロータリアンは自らを体現することによって「人材育成」をお願いいたします。あらためて「親睦」と「奉仕」の実践のための「学び」にスポットを当て、リーダーとしての「人材育成」をスローガンとさせていただきます。

これはロータリアンのみならず、ロータリアンに関わる全ての人々、従業員、関係団体等々・Dynamic・動的な、力強い、生き生きとした、活力に満ちたリーダーを育てるためにとしました現下の感染状況で、フェスタ等運営や奉仕プロジェクトの具体的な目標や進行管理は、地元自治体の措置指示を遵守しつつ実施いたしますが、決して巣ごもりするのではなく、全てのプロジェクトの進行にあたって、「人材育成」を意識した運営をお願いいたします。この「不自由を自由に楽しむ」心意気がロータリアンの真骨頂であると確信しています。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました。

ニコニコ箱

坂東幹事：緊急事態宣言発令により自分の命は自分で守ります。

南岳会員：本日卓話です。よろしく願い致します。

谷口・村上・天羽・竹谷・泊・山形・片岡・浦瀬・坂本・榎本絃会員：雨ですね。もうええわ。

奥井会員：村上会員真面目ですねー。

久米啓会員：今日も雨。

西島会員：久しぶりの出席です。早くコロナがおさまりますように。